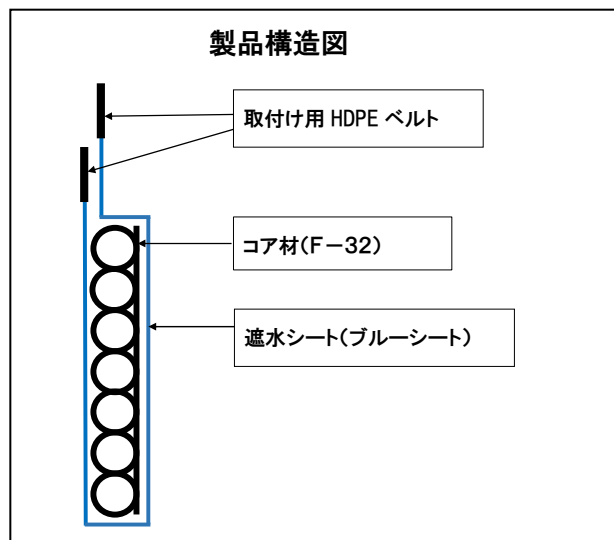
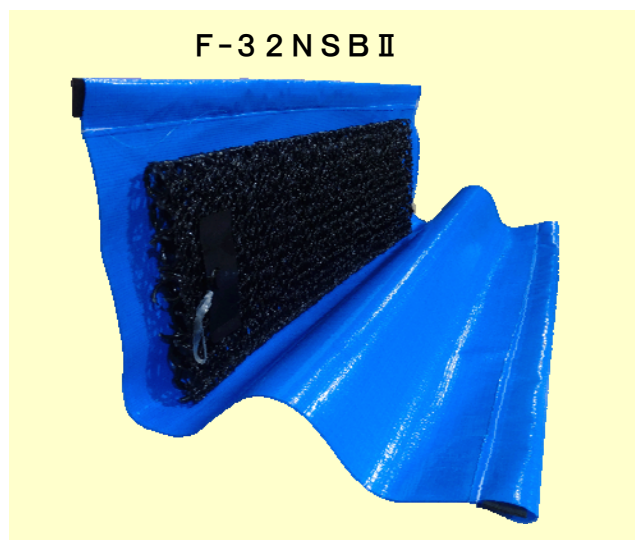


NATM 湧水対応漏水防止型裏面排水材

もやいドレーン NSB II タイプ

もやいドレーン NSB II タイプは、トンネル内部への漏水を抑制する NATM トンネル裏面排水材です。



特 長

- ◆ コア材は独自の立体網状スパイラル構造により、高い耐圧強度と集排水性能を備えており、ポリプロピレン製で空隙率が高いため遊離石灰等による目詰まりを起こしにくい
- ◆ 防水シート裏面の不織布を被覆する遮水シート内に挿入することで、吹付面の湧水を不織布から取り込み確実に裏面排水材に導きます
- ◆ 設置後はコア材全面に被覆する遮水シートが槌状となるため、防水シートを排水材の裏側に巻き込む手間が省けます。
- ◆ 遮水シートの両側に取付け用 HDPE (高密度ポリエチレン) ベルトを装着しているため帯鉄等が不要で、コンクリート釘をそのまま打ち付けられ設置しやすい
- ◆ リサイクル材使用でエコマーク認定を受けており、環境に配慮した製品です

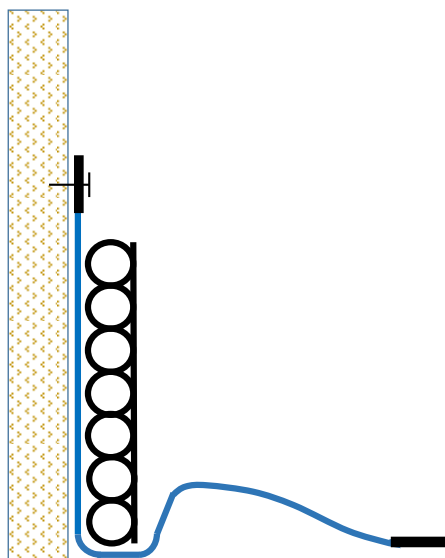
製品仕様

品名 : もやいドレーン F-32NSB II

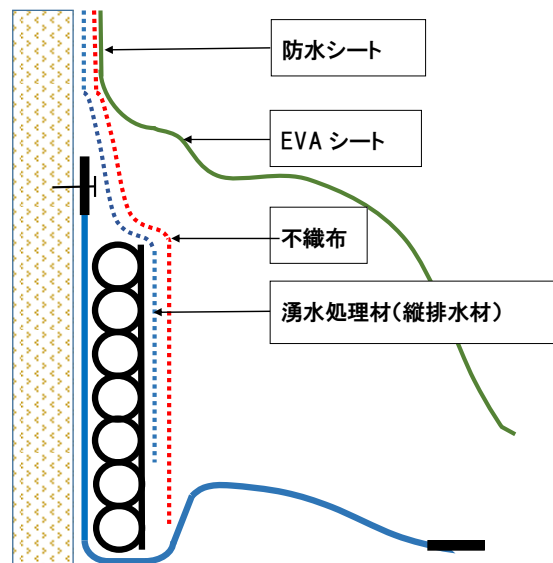
規格 : T30×W200

耐圧強度 : 75kN/m² 載荷時 圧縮量 10% 以下 (NEXCO トンネル設計基準に基づく)

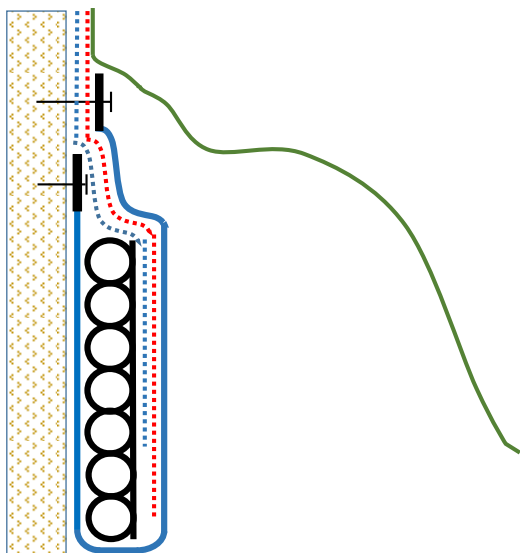
①内側シートのベルト部を打釘して設置



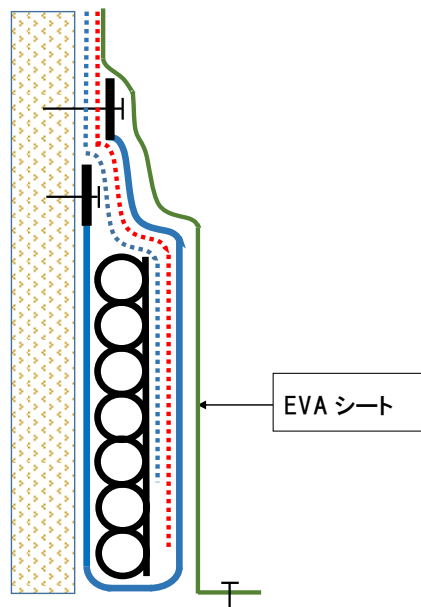
② 防水シートの不織布をはがしてコア材の表面にあてがう(湧水処理材も同様)



③不織布、湧水処理材を挟み込むように外側のブルーシートを覆い被せベルト部を打釘し固定する

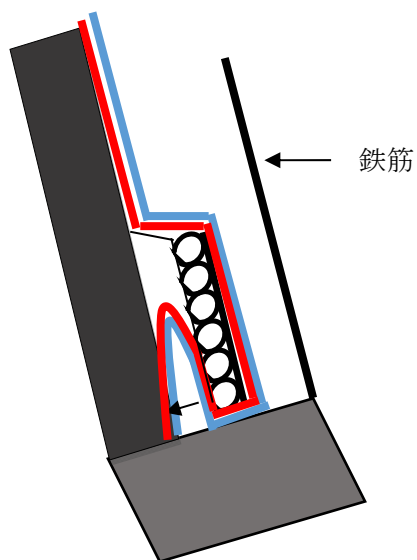


③ EVA シートを被せ打釘固定して完了



・ 施工性

従来技術



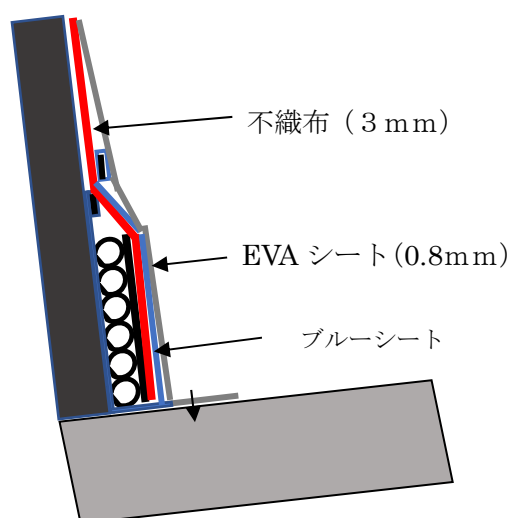
インバート鉄筋区間



写真①

- 写真①の様な鉄筋区間において図①の様に防水シートを巻き込む場合には排水材と防水シートを一緒に持ち上げて背面の吹付け部に釘を打たなければならない。
特に鉄筋区間ではとても大変な施工方法である。

新技術



- 排水材も防水シートも持ち上げる事もなく釘が打てるので施工性は向上する。



施工方法

- ① 排水材を地山に固定する。
- ② 防水シートのシート（0.8mm）と不織布（3mm）を分離させる。
- ③ 不織布だけを排水材とブルーシートの間に入れ込み固定する。
- ④ 防水シートのシート（0.8mm）を排水材の外側にて固定。

・品質

- 防水シートを巻き込んだ際にできる隙間に覆工コンクリート流れ込み
巻厚不足の影響がでる。

新技術では一番外側の EVA シートを巻き込まず固定する為隙間はできず
覆工コンクリートで浮き上がる事もなく巻厚不足の心配がなく覆工コンクリートの品質は向上する。

・周辺環境

- コア材はリサイクル原料を使用してエコマークも取得している。